

訓練も援護も最盛期！すべては隊員のために 駐屯地援護担当者会同を実施



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）新発田駐屯地援護室（室長 1陸尉 川ノ口竜男）は、7月1日（水）、同援護室において駐屯地援護担当者会同を実施しました。この会同は、部隊援護担当者に対して、隊員の進路指導等の要領や就職援助業務等の認識を共有し、連携強化を図ることを目的に実施しています。

今回は、援護担当者9名が参加し「定期異動における若年定年該当隊員の確認」「部外講師によるライフプラン教育等の日程調整」「任期制隊員合同企業説明会等の日程調整」について実施しました。援護室長は「任期制隊員への業務が訓練最盛期と重なり多忙となるが、合同企業説明会や部外講師による教育は、数少ない進路選択の絶好な機会である。積極的に参加できるよう、よく調整し、隊員の幸福に繋がるよう、連携を密接に取り頑張っていこう」と各担当者に述べました。

新潟地本は、各駐屯地援護室と駐屯部隊との連携を強固にし、継続的に隊員の進路選択、就職援助等をサポートしていきます。